

学校評価特別号

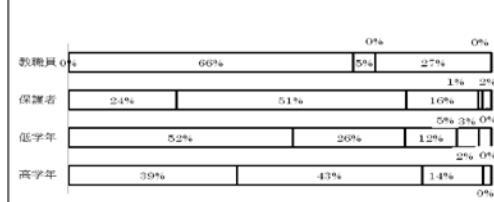
平成26年1月実施アンケート結果

本校では、子ども、保護者・地域の皆様の願いをしっかりと受け止め、学校改善を図ることをねらいに、年間計画に沿って、学校評価を計画的に実施しています。そして、その結果を考察・分析して、改善策を見出し、取り組みを進め、学校の教育力を高めていくサイクルを大切にしています。下記に7月と1月に実施しました学校評価の比較を公表させていただきます。今後の学校の取組の改善に生かしていきます。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

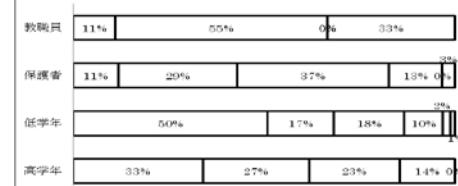
早寝、早起き、朝ごはんなどの良い生活習慣が身についているか

7月



読書習慣が身についているか

7月



テレビ・ゲーム (PC・携帯) などの約束は身についているか

7月



左から よくできる、 大体できている、
あまりできていない、 できていない、
わからない、 無回答

★児童たちの実態を保護者の方々がどのくらい把握され、働きかけておられるかをるために後期には、下記の質問をしました。
子どもが遊ぶゲームや携帯・テレビでの約束を把握しているか



保護者アンケートの結果

保護者が子どもに学習の習慣を身につくようにすること

- 子どもも同士が仲良くすること。
- 子どもが楽しく学校にいくこと
- 子どもが学校や家庭のきまり・約束を守り安全に過ごすこと。

学校が学校・学年・学級などで教育活動をわかりやすく伝えること

子どもが遊ぶゲームやテレビでの約束を把握している

全体的に「よくできる」「大体できている」を合わせた数は変わらないが、「よくできる」が減る傾向がある。早寝、早起きなど生活習慣においては「できていない」が若干増えている。この現象は、前期から後期になると気の緩みがでてくるからであろうかと考えられる。

読書習慣では低学年は伸びているが高学年では減っている。家庭学習の時間も含め、帰宅後の過ごし方でゲームやテレビに費やす時間の工夫が必要かと思われる。

「読書習慣」「意欲的に学習する」「ゲームやテレビでの約束」においては、保護者の重要度が高い半面、実現度は低いので、学校としては、今後、よりよい生活習慣の指導などを働きかけをしていき、家庭との協力のもとで改善していきたい。

高

できている

低

低 大切さ 高

参観日・懇談会や学校行事に積極的に参加すること。

子どもが家で進んで本を読むこと。

子どもも「あいさつ」の習慣を身につくようすること

子どもが意欲的に学習すること。

学校運営協議会委員の方々からいただいたご意見

- 児童が登下校中に植木の枝や実が折られています。自然を大切にする心を大事にしてほしいと願います。
- アンケートをとって作っていただいた「子育てのスタンダード」は、みんなの意見が反映されていて、見るのが楽しみです。内容をみんなで共有してよりよい市原野の子どもを育てていけたらうれしいです。
- 大人が子どもの携帯やゲームの使い方をしっかりと把握し、正しい使い方を教えていかなければならない。
- 個人情報は以前より守られる様になった反面、メール配信などを受けられる道具をもたなければ生活できない環境もあります。それぞれの立場で考えていく社会でありたい。